

小学生記者が市内取材した結果を市長へ報告しました！

～みんなで「川崎の歴史の本」をつくるプロジェクト～

川崎市では、従来の学術的・専門的な「川崎市史」の編さんに先行して、昨年迎えた市制 100 周年を記念し、市民参加による新しい「川崎の歴史の本」を制作しています。

この度、小学生が記者として、川崎の海苔づくりの歴史と神奈川県最古のお寺の歴史や伝承を取材した結果を市長へ報告しました。

日 時	令和 7 年 8 月 1 日（金） 10 時 30 分～11 時 00 分
場 所	市役所本庁舎 3 階 304・305 会議室
参加者	川崎市内在住の小学 5・6 年生（ワークショップ参加者） 14 名
取材先	（1）石渡 美由喜さん（川崎区／7 月 21 日取材） 川崎の海苔づくりの歴史を取材し、殿町小学校の海苔資料室に舟が置かれているナゾが、海苔づくりを今に伝える活動のためであることが分かりました。 （2）加藤 浩照さん 影向寺住職（宮前区／7 月 23 日取材） 神奈川県最古のお寺（影向寺）の歴史や伝承を取材し、絵馬に「めめ」と書かれているナゾが、昔の人が眼病の平癒を祈願したものであることが分かりました。

<小学生記者の取材結果や感想>

- ・海苔づくりの歴史の話を聞いて、そんなことがあったということ、（次の世代に）伝えていこうとする気持ちがよくわかった。
- ・古くからのお寺なので、歴史をつないでいくプレッシャーがあるそうです。次の世代につなげていくことが「大切」なのだと言っていました。



石渡さんへの取材の様子



加藤さんへの取材の様子



市長との歓談の様子

問合せ先

川崎市総務企画局コンプライアンス推進・行政情報管理部公文書館 相原
電話 044-733-3933